

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年1月27日

協議会名: 紀の川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経 由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 事業が計画に位置づけられた 目標を達成できていない点 があった。(路線ダイヤ改正に より、桃山路線へ利用者が移動)	利用者が減少しているため、啓発活動等を行 ない、利用者の確保に努める。また、この路 線に接続するデマンド型交通の導入を進め、 効果を検証し、次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースB 名手駅前～名手駅前の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 事業が計画に位置づけられた 目標を達成できていない点 があった。(路線ダイヤ改正に より、桃山路線へ利用者が移動)	利用者が減少しているため、啓発活動等を行 ない、利用者の確保に努める。また、この路 線に接続するデマンド型交通の導入を進め、 効果を検証し、次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市役 所(経由地: 粉河駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 事業が計画に位置づけられた 目標を達成できていない点 があった。(路線ダイヤ改正に より、桃山路線へ利用者が移動)	利用者が減少しているため、啓発活動等を行 ない、利用者の確保に努める。また、この路 線に接続するデマンド型交通の導入を進め、 効果を検証し、次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 打田北部コース(左まわり) 那賀病院～那賀病院(経由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 事業が計画に位置づけられた 目標を達成できていない点 があった。(路線ダイヤ改正に より、桃山路線へ利用者が移動)	利用者が減少しているため、啓発活動等を行 ない、利用者の確保に努める。また、この路 線に接続するデマンド型交通の導入を進め、 効果を検証し、次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 打田北部コース(右まわり) 那賀病院～那賀病院(経由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	B 事業が計画に位置づけられた 目標を達成できていない点 があった。(路線ダイヤ改正に より、桃山路線へ利用者が移動)	利用者が減少しているため、啓発活動等を行 ない、利用者の確保に努める。また、この路 線に接続するデマンド型交通の導入を進め、 効果を検証し、次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 黒土高野コース 紀の川市役所～高野(経由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院へのアク セスが向上し、利用者は増加している。 利用者増加の原因をさらに検証し、改 善項目を次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 細野貴志川コースA 紀の川市桃山支所～垣内(経 由地: 貴志駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマ ンド交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院へのアク セスが向上し、利用者は増加している。 利用者増加の原因をさらに検証し、改 善項目を次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年1月27日

協議会名: 紀の川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 細野貴志川コースB 紀の川市役所～垣内(経由地: 貴志駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマンド 交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院へのアク セスが向上し、利用者は増加している。 利用者増加の原因をさらに検証し、改 善項目を次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 桃山鞆渕コースA 和田～下志賀(経由地:大西ほ か)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマンド 交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院へのアク セスが向上し、利用者は増加している。 利用者増加の原因をさらに検証し、改 善項目を次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 桃山鞆渕コースB 紀の川市役所～垣内(経由地: 打田駅ほか)の運行	利用促進のため、那賀病院前 で街頭啓発を実施。また、利便 性の向上を図るためのデマンド 交通の導入の検討を進める。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した	ダイヤ改正の結果、那賀病院へのアク セスが向上し、利用者は増加している。 利用者増加の原因をさらに検証し、改 善項目を次回の生活交通確保維持改 善計画に反映できるようにする

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年1月27日

協議会名:	紀の川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	紀の川市地域内フィーダー系統確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>平成17年11月7日に旧那賀郡内の5町(打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町)が合併し、紀の川市が誕生しました。この合併により市の面積が228.21 Km²と拡大し、高齢者や障がい者などの交通弱者にとって市域内の移動が困難となったこと、また公共交通事業者の不採算バス路線撤退等による公共交通空白地域の増加等の問題も生じていたことから、「交通弱者の日常的な移動手段の確保」、「公共交通空白地域の解消」を目的とし、地域巡回バスの運行を開始しました。</p> <p>現在では、この地域巡回バス路線の認知度も、高齢者の方々をはじめとして、徐々に浸透してきているところです。また高齢化、人口減少対策として、市全体で定住施策を推進している中で、公共交通の充実も定住条件の一つと考えられます。</p> <p>以上のことから、引き続き、行政・市民・事業者等が協力し一体となって、この地域巡回バスの路線確保、サービス提供の維持を行っていきたいと考えております。</p>